

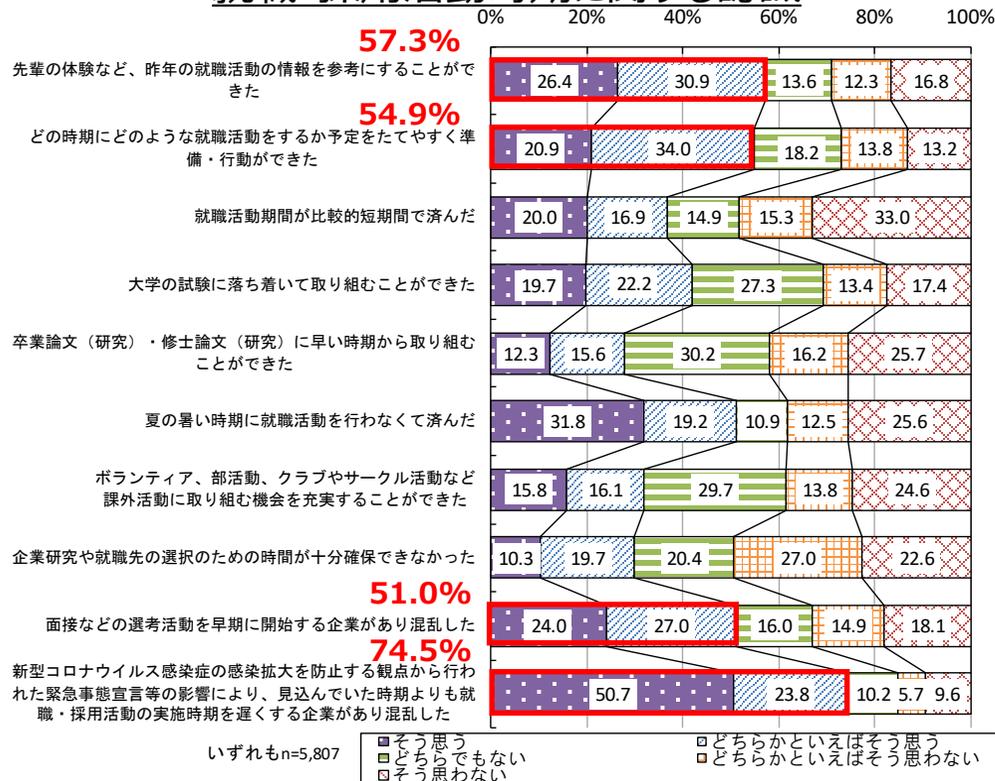
学生の就職・採用活動開始時期等 に関する調査結果（速報版）について （概要）

**令和2年10月29日
内閣府**

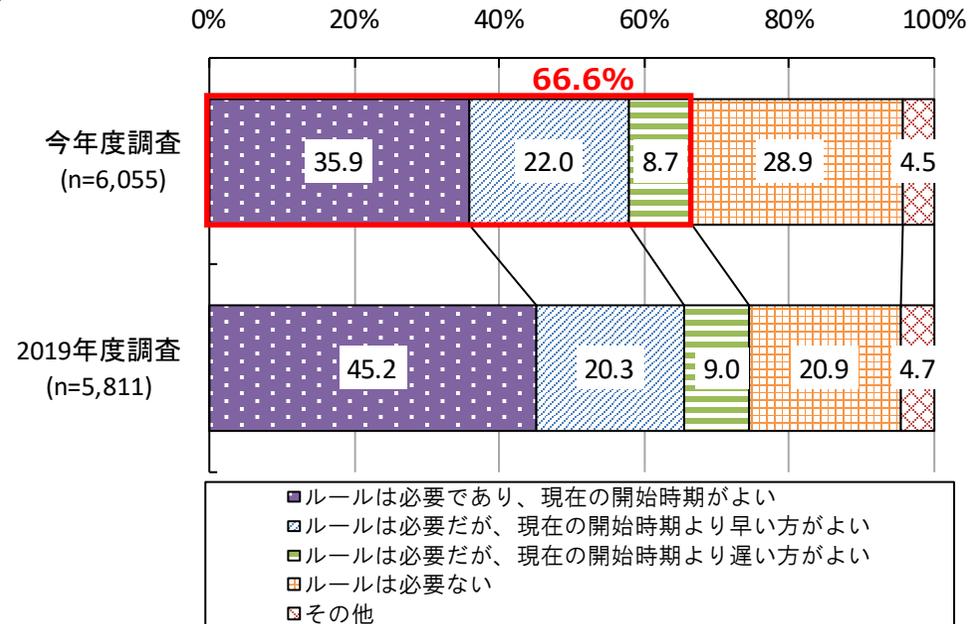
就職・採用活動時期に関する認識

- 内閣府では、就職・採用活動の円滑な実施及び若者の安定的な雇用に資することを目的として、**就職・採用活動に関する学生の意識・行動等の実態について調査**を実施。
(2020年度調査の有効回答数は7,322名(大学4年生:5,643名、大学院2年生:1,679名))
- 2020年度の就職活動時期が、昨年度と同じ時期(広報活動3月、採用選考活動6月)に設定されたことについては、約6割の学生が「**昨年の就職活動の情報を参考にすることができた**」、約5割の学生が「**予定をたてやすく準備・行動ができた**」といった点にメリットを感じている一方で、「**選考活動を早期に開始する企業があり混乱した**」との回答も同程度存在。また、約7割の学生が新型コロナウイルス感染症の影響により、「**見込んでいた時期よりも就職・採用活動の実施時期を遅くする企業があり混乱した**」と回答。
- 就活ルール(広報活動3月、採用選考活動6月)について、「**ルールは必要**」との回答が約7割、特に、「**ルールは必要であり、現在の開始時期がよい**」との回答が約4割と最も高い。

就職・採用活動時期に関する認識



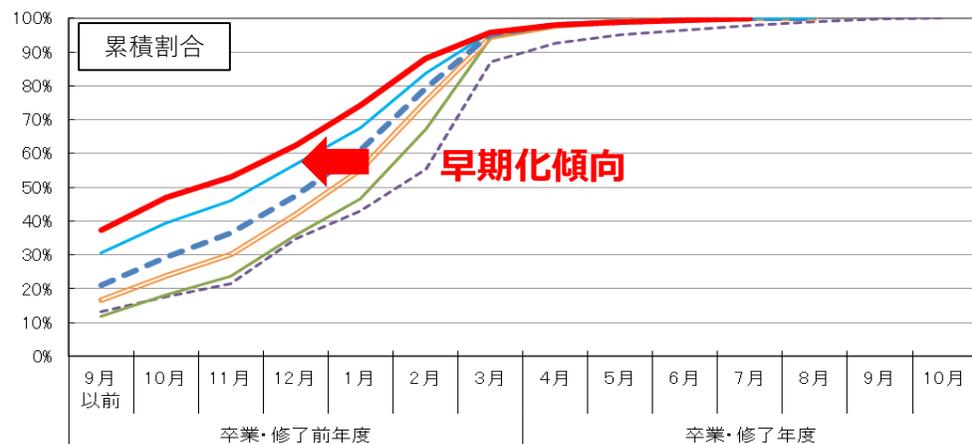
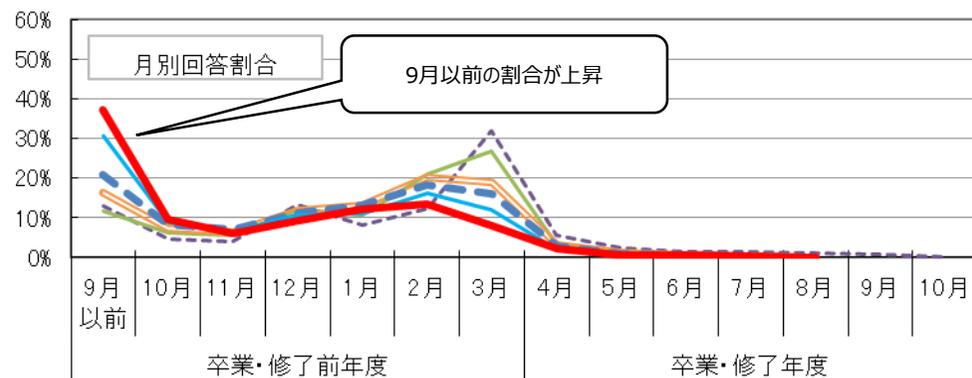
就職・採用活動時期(就活ルール)に関する認識



業界や企業の分析、説明会やセミナーへの参加時期

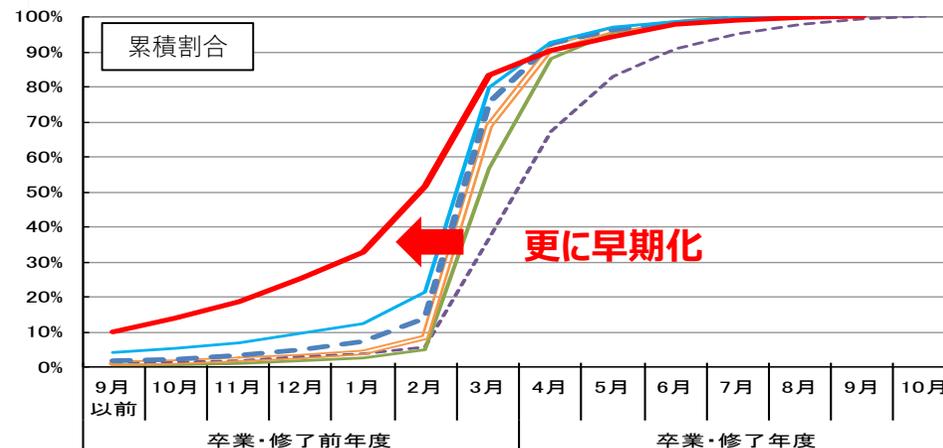
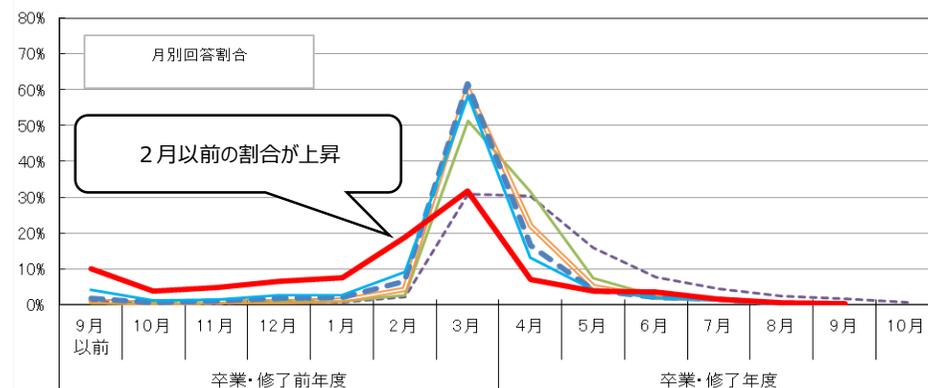
- 業界や企業に関する分析を開始した時期は、就職・採用活動時期を後ろ倒した2015年度以降、**全体的に早期化の傾向**。
- 企業説明会等への参加時期は、これまでと比べ、2月以前の割合が上昇し、**更に早期化**。

業界や企業に関する分析を開始した時期



--- 2015年度調査・全体：累積割合(n=2,025) --- 2016年度調査・全体：累積割合(n=10,088)
 --- 2017年度調査・全体：累積割合(n=7,907) --- 2018年度調査・全体：累積割合(n=8,049)
 --- 2019年度調査・全体：累積割合(n=5,586) --- 今年度調査・全体：累積割合(n=5,571)

企業説明会やセミナー等への参加時期

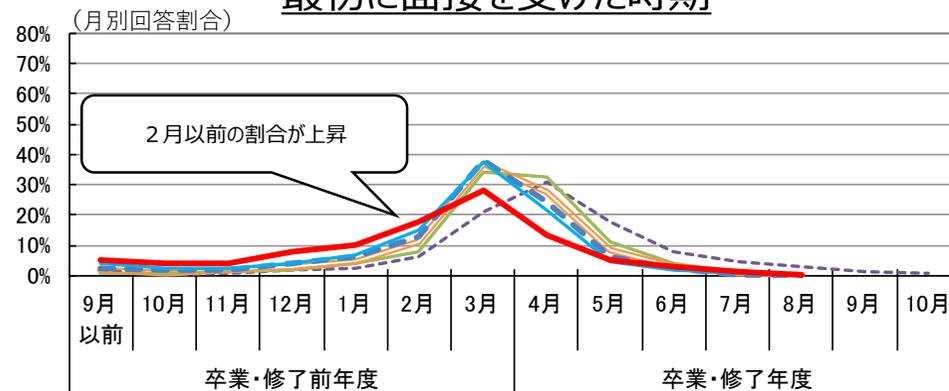


--- 2015年度調査(n=2,025) --- 2016年度調査(n=10,207)
 --- 2017年度調査(n=8,029) --- 2018年度調査(n=8,155)
 --- 2019年度調査(n=5,598) --- 今年度調査(n=5,440)

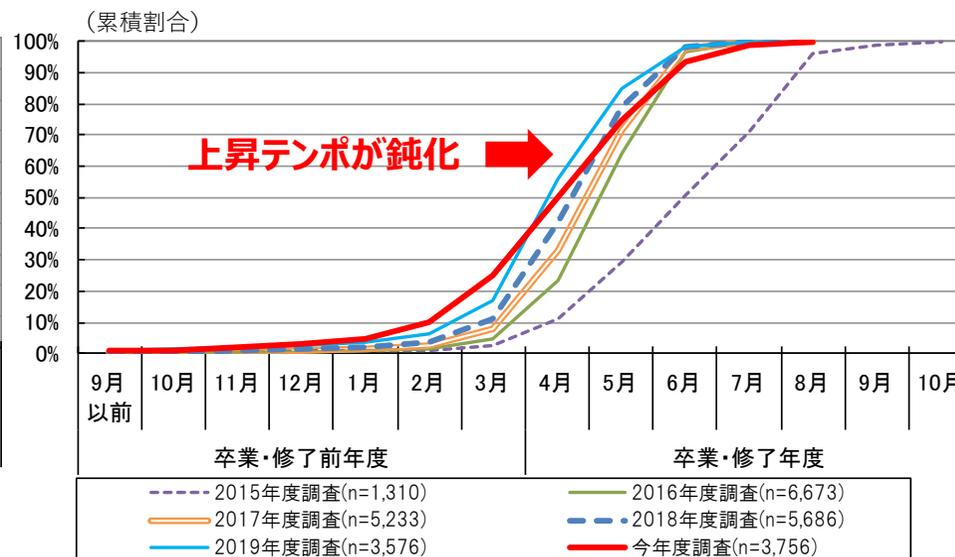
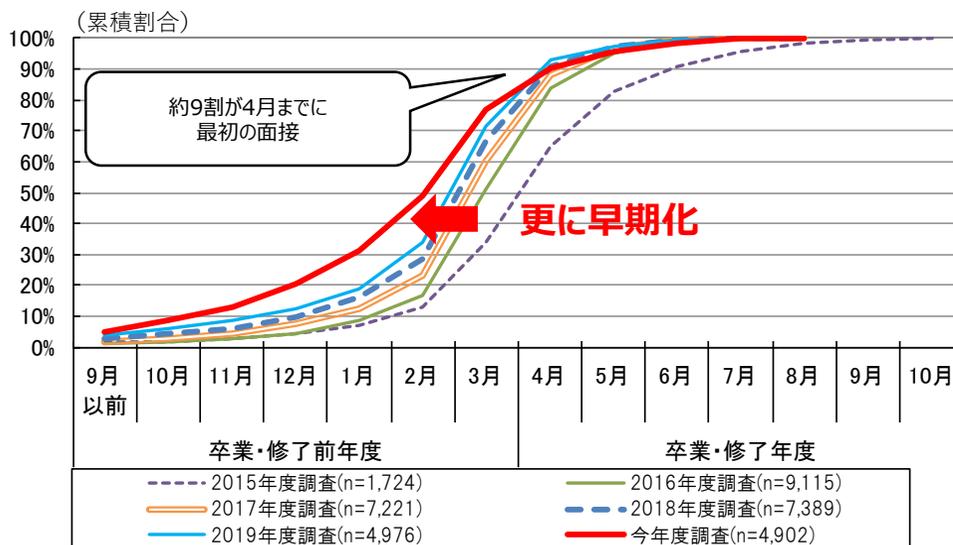
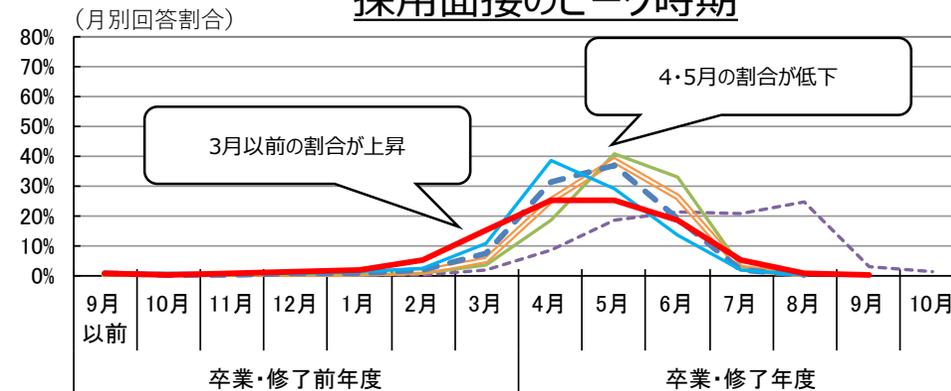
採用面接の実施時期

- **最初に面接を受けた時期**は、これまでと比べ、**2月以前の割合が上昇し、更に早期化**。累計で見ると、**4月までに約9割の学生が面接**。
- **採用面接のピーク時期**は、これまでと比べ、**3月以前の割合が上昇した一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、4・5月の割合は低下**。その結果、累積で見ると、**3月以前は早期化傾向が見られたが、4月以降はテンポが鈍化**。

最初に面接を受けた時期



採用面接のピーク時期

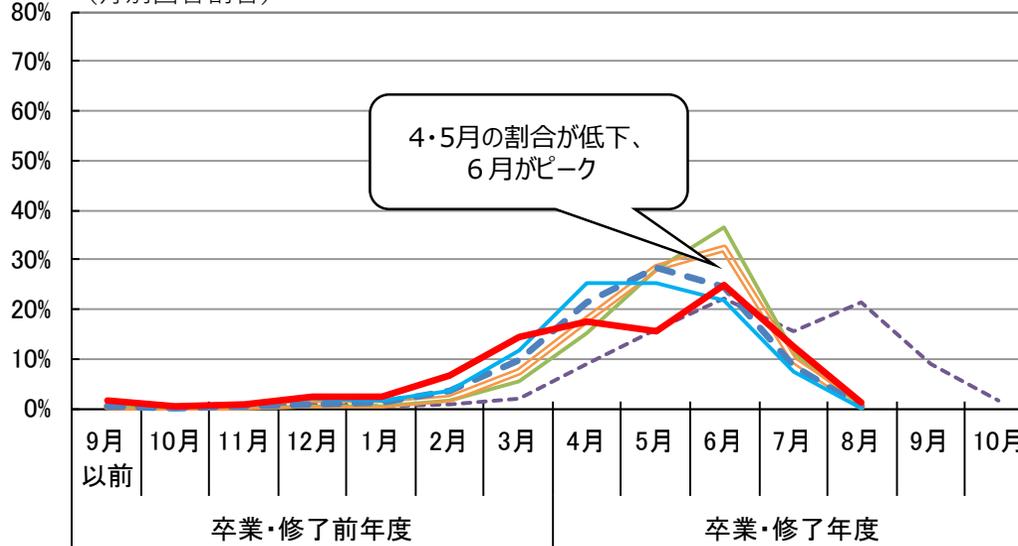


内々定を受けた時期

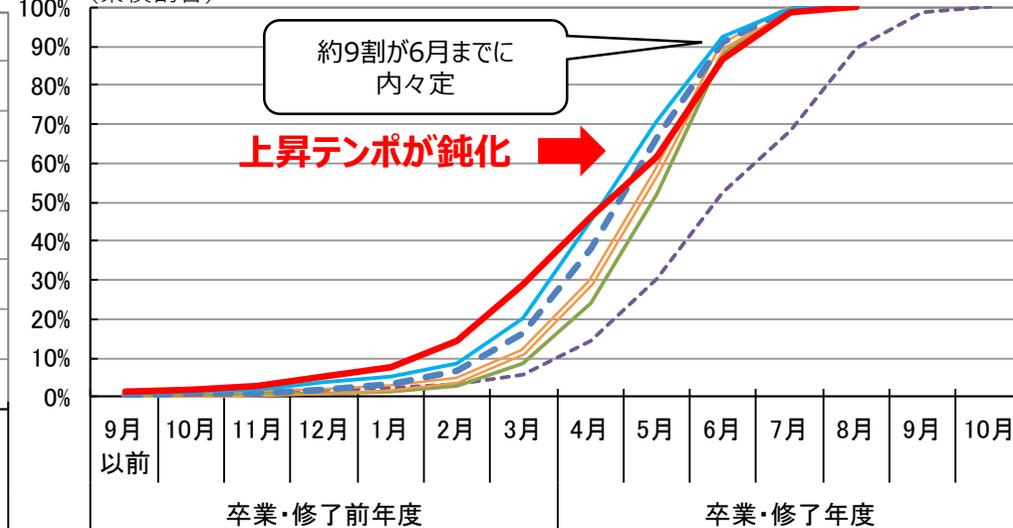
- 内々定を受けた時期は、3月以前の割合が上昇した一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、4・5月の割合が低下し、6月がピークに。
- その結果、累計で見ると、3月以前は早期化傾向が見られたが、4月以降はテンポが鈍化。6月までに9割以上の学生に内々定。

内々定を受けた時期

(月別回答割合)



(累積割合)



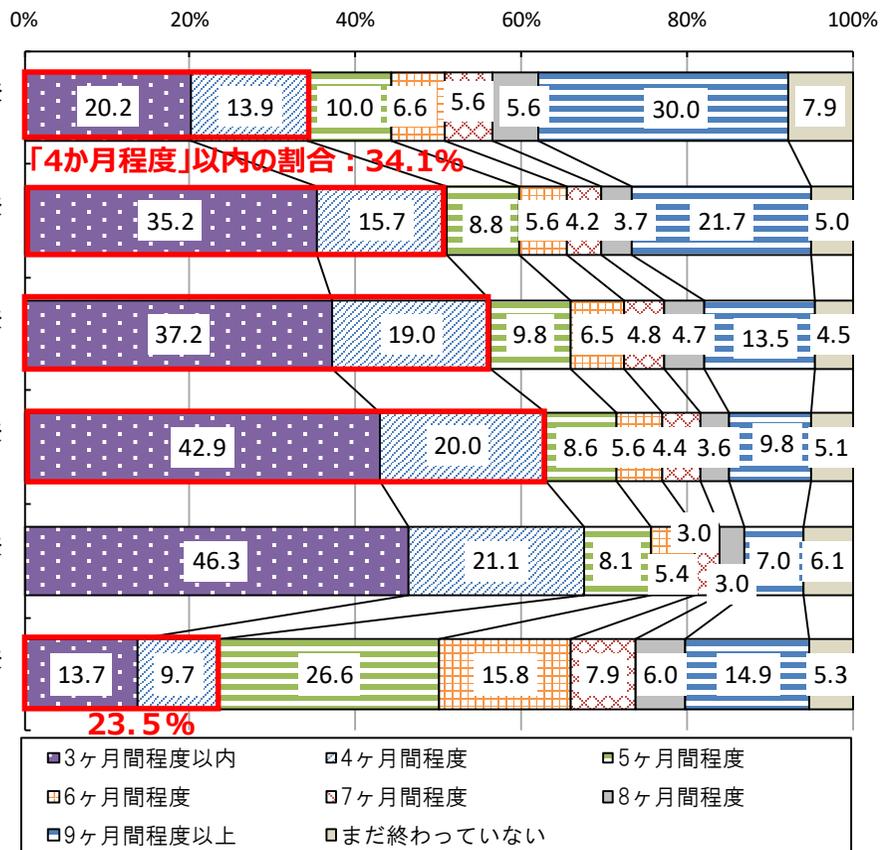
2015年度調査(n=1,578) 2016年度調査(n=8,382)
 2017年度調査(n=6,749) 2018年度調査(n=7,040)
 2019年度調査(n=4,720) 今年度調査(n=4,371)

2015年度調査(n=1,578) 2016年度調査(n=8,382)
 2017年度調査(n=6,749) 2018年度調査(n=7,040)
 2019年度調査(n=4,720) 今年度調査(n=4,371)

就職活動に要する期間、学修時間の確保

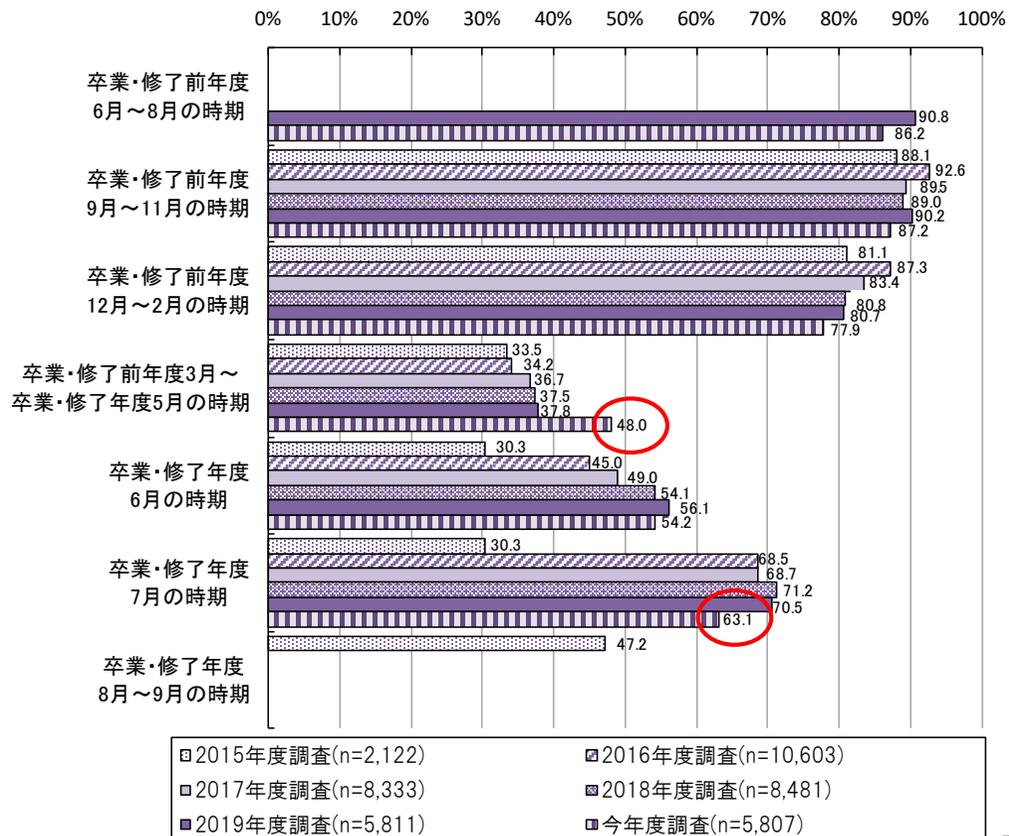
- 2020年度の就職活動に要する期間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の面接や内々定の時期が後ろ倒しされたことなどもあり、長期化傾向。
- 学業への専念については、新型コロナウイルス感染症の影響により、「卒業・修了前年度の3～5月」に学修時間を確保できたとする割合が上昇する一方、「卒業・修了前年度の7月」は低下。

就職活動の始まりから終わりまでの期間



就職活動と学修時間の確保

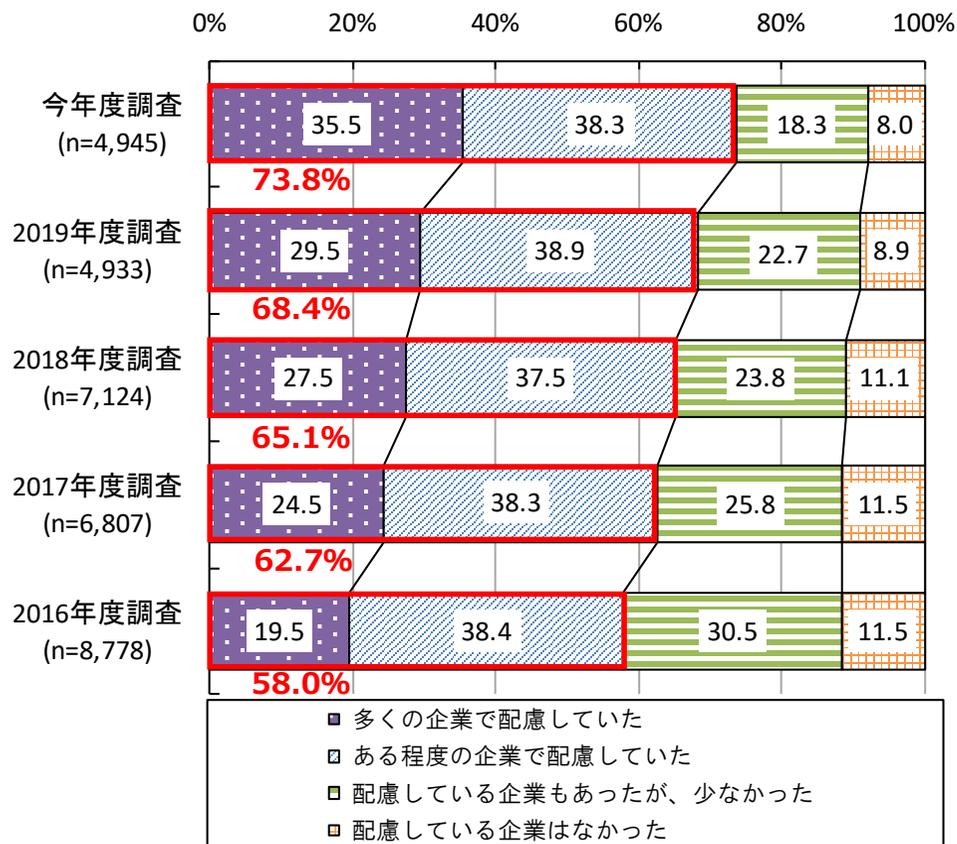
時期別の学修時間について、「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した者の割合



企業による学業等や留学経験者への配慮

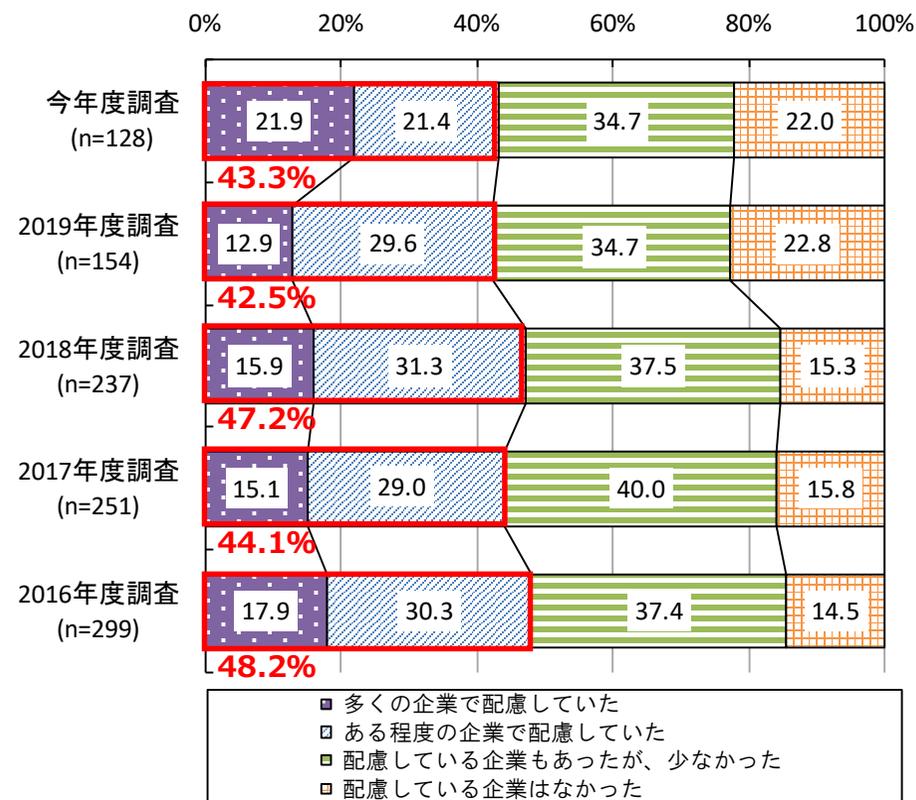
- 多くの企業又はある程度の企業で、
 - ・ 説明会や面接等の日程に関して、**授業や試験等の妨げにならないよう配慮がなされていたと感じた学生の割合は約7割。**
 - ・ 留学経験者向けのスケジュールや情報を示すなど、**留学により不利にならないよう配慮がなされていたと感じた学生の割合は約4割。**

企業による学生の学業等への配慮



※「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者を除いたうえで集計

企業による留学経験者の配慮

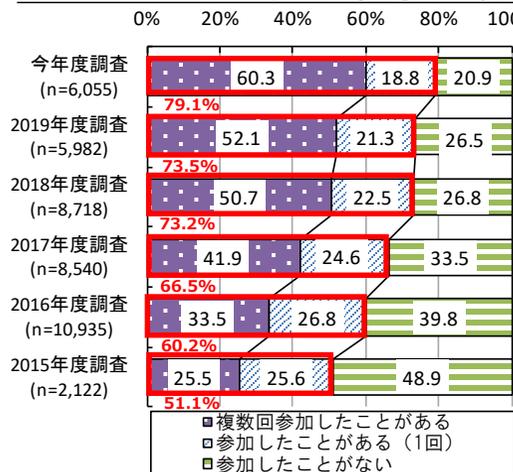


※「留学経験者であることを特に意識せずに就職活動を行っていたため、わからない」と回答した者を除いたうえで集計

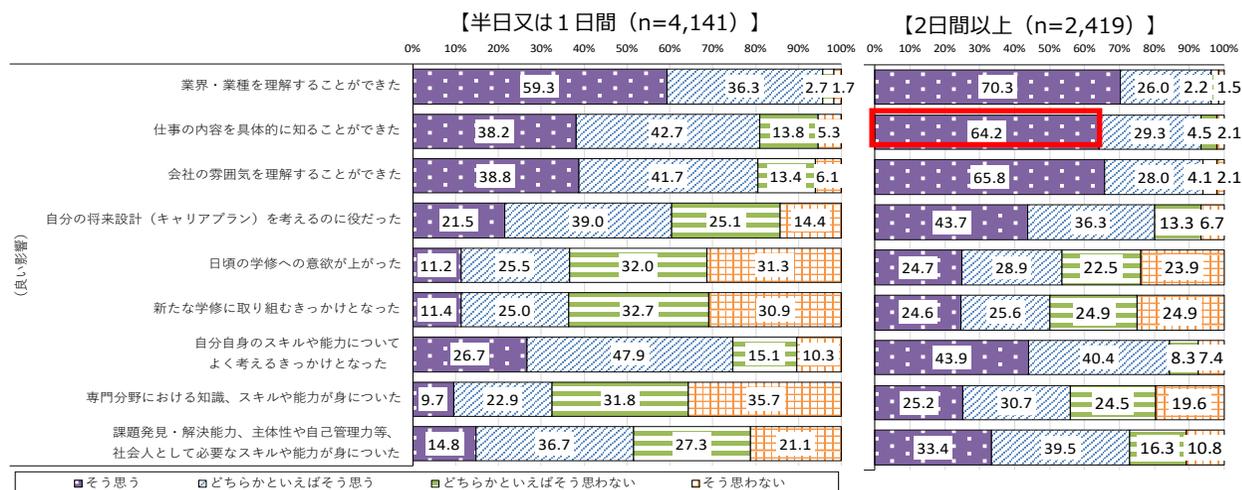
インターンシップへの参加状況等

- インターンシップに参加した学生が約8割と、2015年度以降で最も高い水準。
- 「2日以上インターンシップに参加して感じた効果」について、「仕事の内容を具体的に知ることができた」との回答割合が約6割。
- 「半日又は1日間」のインターンシップが、「就業体験等を伴うものではなかった」と回答した割合は約6割。
- インターンシップが採用のための実質的な選考行為を含んでいた割合は約3割。

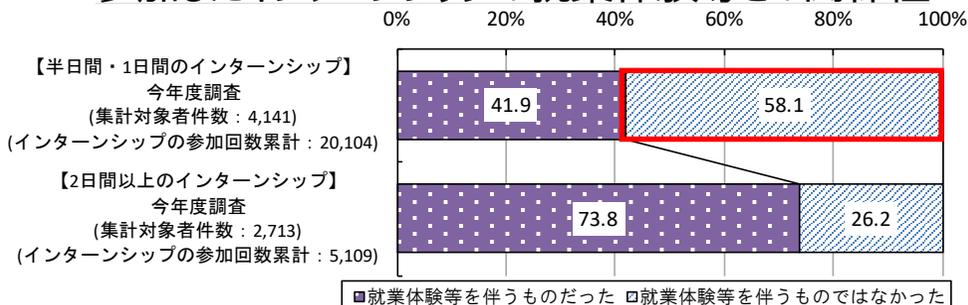
インターンシップ参加経験の有無



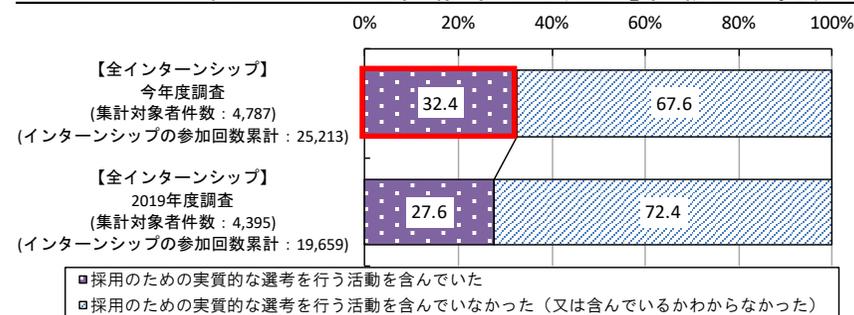
インターンシップ参加の効果



参加したインターンシップの就業体験等との関係性



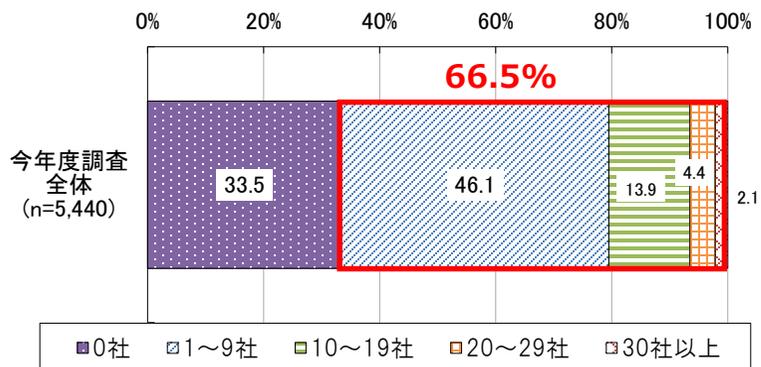
インターンシップにおける実質的な選考実施の有無



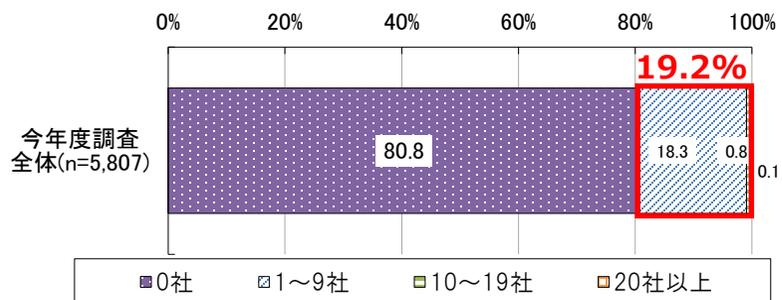
新型コロナウイルスの影響等

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、**企業説明会が中止となる経験をした学生は約 7 割、面接が中止となる経験をした学生は約 2 割。**
- 学生の就職活動の課題として、「**企業説明会が延期・中止になる等、移動や対面での接点がなくなり、企業や仕事などの情報収集が十分にできなかった**」との回答が約 6 割、次いで「**移動で公共交通機関を使うことに関し不安が大きかった**」との回答が約 5 割。

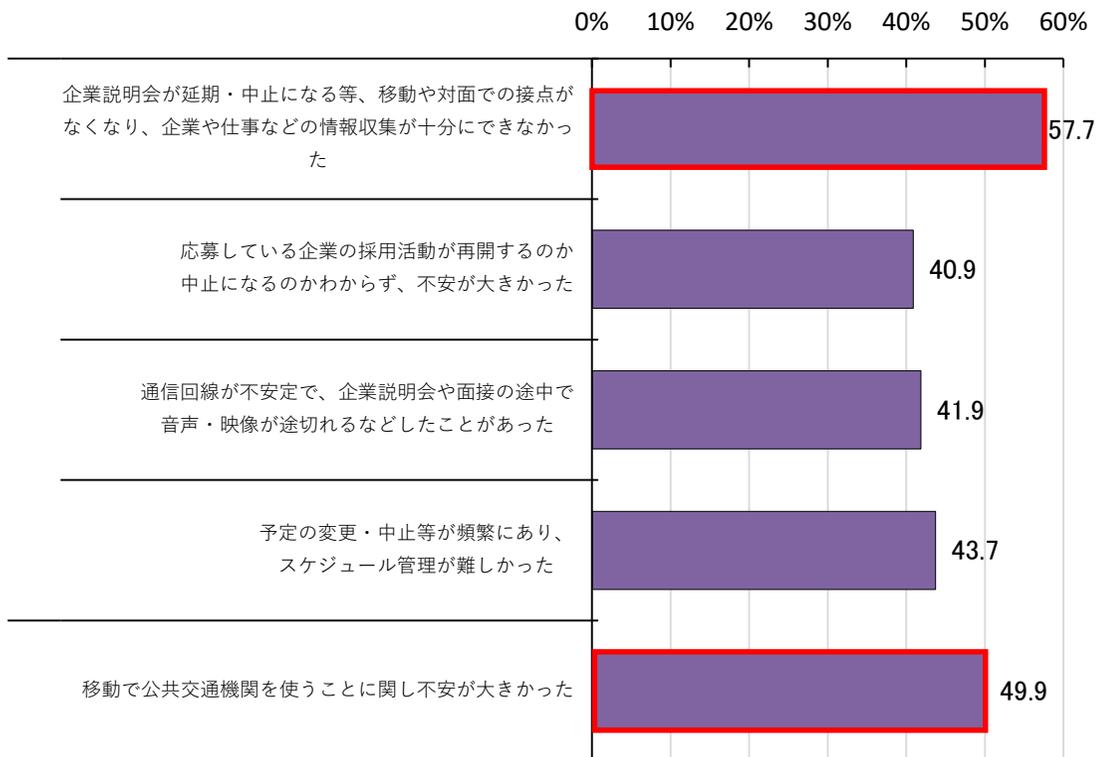
参加予定の企業説明会等が中止になった企業数の割合



参加予定の面接が中止になった企業数の割合



新型コロナウイルス感染症による課題



【今年度調査 (n=5,807)】複数回答